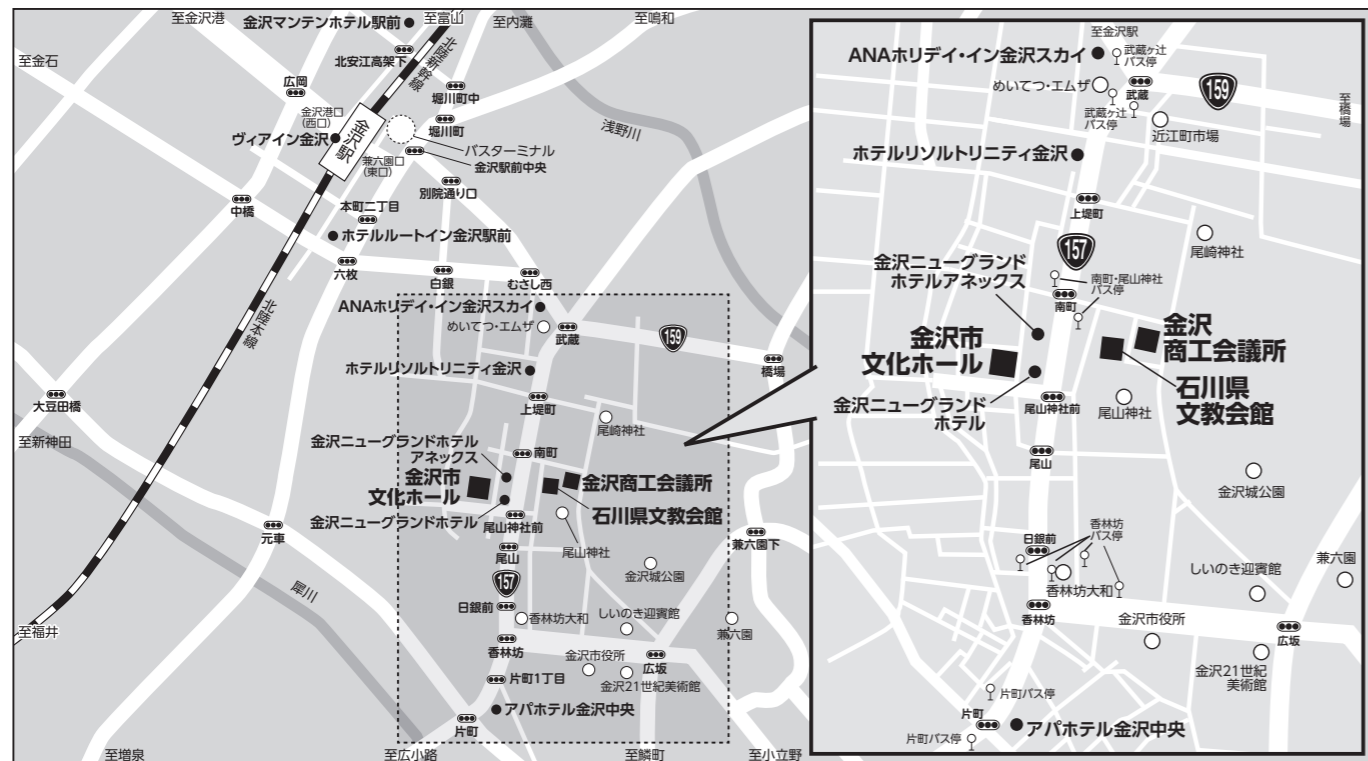


参加者 東海北陸地区特別支援教育関係者 約900名

参加費 3,500円(資料代含む)

アクセス



金沢市文化ホール  
金沢市高岡町15-1  
TEL(076)223-1221



石川県文教会館  
金沢市尾山町10-5  
TEL(076)262-7311



金沢商工会議所  
金沢市尾山町9-13  
TEL(076)263-1151

JR金沢駅からのアクセス

【バス】金沢駅前(兼六園口)3, 6, 8~11番のりば「南町・尾山神社」下車(約10分)、徒歩約2~3分  
【タクシー】金沢駅前(兼六園口)から約10分  
【徒歩】金沢駅から約20分

大会事務局

金沢市立小将町中学校特学分校  
教頭 中村 秀治

〒920-0932 石川県金沢市小将町1-15  
TEL(076)222-7575/FAX(076)262-6273  
E-mail koshoumachi-t@kanazawa-city.ed.jp

# 第38回 東海北陸地区 特別支援教育研究大会 石川大会 第58回 石川県特別支援教育研究協議会 金沢大会 第2次案内

ご挨拶

第38回東海北陸地区特別支援教育研究大会石川大会ならびに第58回石川県特別支援教育研究協議会金沢大会を石川県金沢市にて開催いたします。特別支援教育の充実、振興に向けて多数ご参加くださいますよう、お願いがたがたご案内申し上げます。

平成28年4月

第38回東海北陸地区特別支援教育研究大会石川大会  
第58回石川県特別支援教育研究協議会金沢大会

大会会長 近藤 貴好  
実行委員長 吉田 千尋

大会主題

共生社会の実現にむけ、  
豊かに生きる力を育む特別支援教育をめざして

期 日 平成28年7月28日(木)・29日(金)

会 場 第1日目 全体会 金沢市文化ホール  
第2日目 分科会  
・第1, 2, 3分科会 金沢商工会議所  
・第4, 5分科会 石川県文教会館  
・第6, 7分科会 金沢市文化ホール

\*所在地・地図は裏面をご覧ください

主 催 全日本特別支援教育研究連盟 東海北陸地区特別支援教育研究協議会  
石川県特別支援教育研究会

後 援 石川県教育委員会 富山県教育委員会 名古屋市教育委員会  
岐阜県教育委員会 愛知県教育委員会 三重県教育委員会  
福井県教育委員会 静岡県教育委員会 金沢市教育委員会  
石川県小中学校長会 石川県高等学校長協会 石川県特別支援学校長会  
石川県特別支援学級設置校長協会 石川県小中学校教育研究会 金沢市小学校教育研究会  
金沢市中学校教育研究会 石川県手をつなぐ育成会 東海北陸手をつなぐ育成会協議会  
日本教育公務員弘済会石川支部(公財)

# 大会開催要項

## 大会日程

第1日目 7/28(木)	8:30	12:00	13:00	13:40	14:05	14:25	16:30
	受付		開会式	全体会	休憩	講演会	
第2日目 7/29(金)	8:30	9:00	9:30	12:00			
	分科会打合せ		分科会				

\* 12:45よりオープニングの和太鼓演奏を予定しています

\* 第2回運営研究会は12:30～15:00を予定しています

## 大会趣旨

学校教育法の一部改正を受けて、新たに特別支援教育の制度がスタートしてから10年が経過しようとしている。この間は障害児・者に関わるさまざまな事柄について検討され、法改正が行われてきた。

教育では、国において平成25年度からインクルーシブ教育システム構築事業がスタートし、特別支援教育の新たな取り組みが続いている。また、学校教育法の施行令が一部改正され、就学先を決定する仕組みも変更された。こうした中で、学校には障害のある児童生徒と障害のない児童生徒がともに学ぶ交流及び共同学習をさらに充実させること、一人一人の児童生徒の可能性を最大限に伸ばし、豊かに生きる力を育むことが求められている。

今大会では、東海北陸地区各学校での教育実践について研究協議を深めることを通して、学校に与えられたミッションに応えるべく適切な指導・支援のあり方を探っていききたい。

(1) 全体会 **石川県の特別支援教育の現状と課題** 石川県教育委員会学校指導課 課長補佐 **杉江 哲治 氏**

(2) 講演 **演題 「難しくなる保護者対応トラブル ～学校としてすべきこと、してはいけないこと～」**  
**講師 大阪大学大学院 教授 小野田 正利 氏**

(3) 分科会

会場	分科会	テーマ	協議内容	提案者	司会者	助言者	
金沢商工会議所	1	支援体制 (地域・校内)	・ 地域・学校間における連携や支援体制のあり方 ・ 校内における支援体制のあり方	・ 学校間の連携および地域・関係機関との連携 ・ 特別支援教育コーディネーターの役割 ・ 校内支援体制の整備	愛知県 愛知県立安城特別支援学校 教諭 石川 新祐 石川県 小松市立矢田野小学校 教諭 村元 康子	愛知県 愛知教育大学附属特別支援学校 教諭 寺澤 益実 石川県 小松市立矢田野小学校 教諭 東 智美	愛知県 西尾市立白浜小学校 校長 清水 文克 石川県 石川県教育センター 指導主事 岡部 康英
	2	教科学習	・ 生活に結びつく教科の指導	・ 楽しく学びながら基礎基本を大切に授業のあり方 ・ 生活に結びついた言語や数量の指導と教材教具の工夫 ・ かかわり合いを大切に学習展開の工夫	三重県 志摩市立志摩中学校 教諭 喜田 則博 石川県 加賀市立片山津小学校 教諭 和田 佳子	三重県 鳥羽市立鳥羽東中学校 教諭 中井 まゆり 石川県 加賀市立錦城東小学校 教諭 田中 敏恵	三重県 志摩市立磯部小学校 教諭 西井 奨 石川県 金沢市教育プラザ研修相談センター 係長 山岸 茂義
	3	生活	・ 主体性を伸ばし自立的な生活を目指す指導	・ 主体的に活動に取り組む指導の工夫 ・ 生活の基礎を作る日常生活の指導 ・ 生活力を育てる生活単元学習	静岡県 磐田市立青城小学校 教諭 重松 智子 石川県 白山市立広陽小学校 教諭 谷 真季	静岡県 磐田市立磐田南小学校 教諭 浅羽 寿彦 石川県 白山市立松南小学校 教諭 林 文恵	静岡県 静岡大学 講師 山元 薫 石川県 金沢市教育委員会 指導主事 山崎 麻子
石川県文教会館	4	作業・進路	・ 社会的自立と進路実現を目指した指導と支援	・ 主体的な進路選択のためのキャリア教育 ・ 社会的自立に結びつく作業学習 ・ 関係機関との連携の促進	名古屋市 名古屋市立守山養護学校 教諭 長縄 武 石川県 石川県立いしかわ特別支援学校 教諭 小下 寛史	名古屋市 名古屋市立南養護学校分校 教諭 岩井 圭志 石川県 石川県立いしかわ特別支援学校 教諭 中山 ちさと	名古屋市 名古屋市立豊が丘小学校 校長 福井 公男 石川県 石川県教育委員会 指導主事 東 寿彦
	5	発達障害 (小学校)	・ 一人一人の教育的ニーズに応じた支援の工夫と充実	・ 個別の教育的ニーズの把握と指導や支援の工夫 ・ 学習支援と教育環境整備の工夫	富山県 氷見市立湖南小学校 教諭 三津島 典子 石川県 七尾市立小丸山小学校 教諭 松本 澄栄	富山県 氷見市立上庄小学校 教諭 北元 文子 石川県 七尾市立山王小学校 教諭 加賀 久美子	富山県 富山県立富山高等支援学校 教頭 関口 利浩 石川県 石川県立小松瀬嶺特別支援学校 校長 西 啓子
金沢市文化ホール	6	発達障害 (中学校)	・ 一人一人の教育的ニーズに応じた支援の工夫と充実	・ 個別の教育的ニーズの把握と指導や支援の工夫 ・ 学習や進路の支援と教育環境整備の工夫	岐阜県 下呂市立竹原中学校 教諭 大平 樹奈 石川県 かほく市立高松中学校 教諭 能岡 晶子	岐阜県 下呂市立萩原小学校 主幹教諭 田口 淳子 石川県 津幡町立荻野台小学校 教諭 架谷 一俊	岐阜県 岐阜市立岐阜特別支援学校 校長 熊田 正俊 石川県 金沢星稜大学 教授 河野 俊寛
	7	個別の教育支援計画	・ 個別の教育支援計画の効果的な活用	・ 個別の教育支援計画の作成と活用 ・ 関係機関との連携および移行期における支援の継続	福井県 敦賀市立栗野南小学校 教諭 重神 加代子 福井県立南越特別支援学校 教諭 磯邊 敦子 石川県 石川県立明和特別支援学校 教諭 多保田 春美	福井県 美浜町立美浜東小学校 教諭 内田 順子 石川県 石川県立明和特別支援学校 教諭 岩原 真由美	福井県 福井県教育庁嶺南教育事務所 特別支援教育課 課長 岸本 嘉宏 石川県 石川県教育委員会 主任指導主事 瀬川 真司